第１学年○組　道徳学習指導案

平成２８年　　月　日（　）第　時限１年○組教室

指導者　○○○○

１　主題名　　命を守る～大切なことは何か～　内容項目　３－（１）生命の尊重

２　資料名　「極限の救出劇」（出典　彩の国の道徳　道徳教育指導資料集「心の絆」）

　　　　　　「負げねっすよ　釜石　鉄と魚とラグビーの街」

３　主題設定の理由

（１）ねらいとする価値について

　　　現代の日本では、生きていることが当たりまえで自分の命が危険にさらされる状況になることは考えられない。また、身近な人の死に接したり、人間の生命の有限さやかけがえのなさに心を揺り動かされたりする経験を持つことも少なくなっている。そのためか、生命軽視の軽はずみな行動が社会的な問題となることもある。人間の生命のみでなく、生きとし生けるものの生命の尊厳に気づかせ、互いに支え合って生きていき、生かされていることに感謝することができるように指導していきたい。

（２）生徒の実態について

　　　中学生になり新しいスタートを切って何事にも積極的に取り組もうとしている。行事の中でも、自分たちでやりたいと思ったことに対して、意見を出し合い、行動に移す姿が見られるようになった。しかし、自分本位なわがままな発言であったり、人任せにしてしまったりすることも多い。これまで、多くの人に支えられてきたことに感謝の気持ちをもち、自分で考え、責任をもって行動してほしいと考えた。理想と現実に押しつぶされることなく、ありのままの自分を受け入れ、自分を大切に扱うことができるようにしたい。

（３）資料・指導について

　　　本資料は、東日本大震災の際に、実際に起こった事実を扱っている。ラガーマンの森さんが、自らも一度は津波にのまれながらも、取り残された多くの人を救助したという内容である。誰もが持っている純粋な正義感。しかし土壇場で行動に移せるものはわずかである。森さんの極限状態の中でも「死なないという自信」をもって、救出にあたる姿を通じて、自分の命を大切にするからこそ自他の生命を尊重することができることに気付かせたい。

　　　命を大切にするとはどういうことかをさまざまな視点から考えて行く。生かされている自分に気づき、安全指導では、自分の命は自分で守るという意識をもたせて、本時につなげる。

　　　導入では、震災の過酷な状況、人を助けるために多くの命が失われたこと、助け合う日本人の良いところを知る。映像や冷たい水、人の重さを体感し、救助の難しさに驚くことであろう。

　　　ラガーマン森さんの話を聞き、自分の命を守ることが一番だが、助けるべき人が目の前にいたらどうするべきか心の中で葛藤をする。森さんがどうしたかを考える中でなぜそうしたのかと根拠を考え始めるであろう。さまざまな立場に立って考えることができるように生徒の発言をつなげていき、大切なことは何か気づくことができるようにしていきたい。自分の命を大切にするからこそ、人の命を大切にできることを感じてほしい。そして、自分を見つめ、今後につながる決意を生み出したいと考えた。

４　指導計画

（１）　命を大切にするとは（命をいただく）・・・・・・1時間　（道徳）

（２）　安全指導　　　　　（自分を守る）・・・・・・・1時間　（学活）

（３）　命を守る　　　　　（大切なことは何か）・・・・2時間　（道徳　本時１／２）

５　本時の指導（１／２）

ねらい

生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心を育てる。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| １　命を大切にするとはどういうことか考える。２　東日本大震災について知る。３　資料の範読をきく。1. 一命を取り留めた後、まだ取り残されている人を見つけた森さんはどうしたか考える。
2. どうしたらよいのか、森さんの周りの人の気持ちに寄り添い考える。

◎「個」の困り感に寄り添う支援

|  |  |
| --- | --- |
| 生徒の様子 | 支　　援 |
| 立場が明確に定まらない生徒 | 1. 逃げたか助けたか二択にして予想できるようにする。
2. 自分の家族だったらどうか置き換えて考えることができるようにする。
 |
| 立場が定まった生徒 | 1. 立場によって考えが変わることに気付くことができるように板書する。
2. 心の葛藤を発言しやすくする問いかけをする。
 |

４　森さんは、なぜ一人で救助を続けることができたのか考える。５　森さんの行動について、自分の考えをまとめる。 |

評価

生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする心をもつことができたか、授業中の発言やワークシートから判断する。

６　板書計画（予想される意見や考え）

|  |
| --- |
| ・死なない　・殺さない　・感謝して食べる命を大切にする東日本大震災釜石市　　　魚と鉄とラグビーの街写真一命を取り留めた後、まだ取り残されている人を見つけた森さんはどうしたでしょう。　　　　　　逃げた・疲れている・へとへと・自分の命も危ない＜森さんが自分の家族だったら>・逃げてほしい・死んでほしくない助けたた・森さんは強いからどうすればいいのだろう・困っている人は助けるべき自分を助けた人が目の前で命を落としたら・・・＜取り残された人の家族だったら>・助けてほしい・逃げたら一生うらむ自分は　　　　　　　という自信があった。死なない守るべきものがある中、命がけで飛び込んだ森さんをどう思うか。 |

高　評